

貴志川高等学校

| | |
|------|-----------------------------|
| 実施日時 | 令和3年 11月 5日(金) |
| 参加者 | 生徒297名、教職員43名、地域住民等0名 計340名 |
| 実施内容 | 防災動画視聴、シェイクアウト訓練、火災避難訓練 |

ねらい

- 1 近い将来、発生が危惧される南海トラフ地震をはじめ自然災害に備え、高校生の防災への意識を高め、地域防災の担い手として社会貢献できる青少年の育成を目的とする。
- 2 関係機関や地域の協力、連携のもと、防災減災に関するより専門的な知識や技術を習得することを目的とする。

主なプログラム

- 1 防災動画視聴
- 2 シェイクアウト訓練
- 3 火災避難訓練

概要

- 1 大地震が起きた際に具体的にどのような行動を起こすのか、身を守るための知識を学ぶための動画を視聴した。
動画①ゆれたらどうする？学校編
動画②ゆれたらどうする？おうち編
動画③大地震が起きた！その後どうする？
- 2 紀伊半島に震度7の南海トラフ地震が発生したと想定。教室内にいる生徒は、安全確保のために、机の下にもぐり、身を守るシェイクアウト訓練を実施した。
- 3 震度7の南海トラフ地震を想定。生徒ホールからの出火に伴い、全校生徒が各教室から各避難経路を利用し、グラウンドに避難する訓練を実施した。

参加者感想文

- ・防災動画を視聴して、地震が起きた際に所在場所や場面ごとで最適な対策があるということが理解できた。
- ・グラウンドに避難する際は落ち着いて、慌てず行動するように気をつけた。
- ・地震対策を家族と話し合いたい。家具など置き物の配置場所も考えていく。
- ・今年もコロナウイルス感染防止対策のため、関係機関や地域の方と連携して実施はできなかったが、今年は動画視聴も含め3つのプログラムを実施できたので良かった。

成果と課題

【成果】

今年度も昨年と同様にコロナウイルス感染防止対策のため、規模縮小しながら、防災スクールを継続実施できたことがよかった。先日、本県でも震度5の地震があったが、シェイクアウト訓練、防災動画を視聴した効果があり、生徒たちは身を守るために適切な行動ができていた。

【課題】

新型コロナウイルス感染症が蔓延しているし関わらず、地震や災害はいつ起こるかわからない。常に、それらが発生したことを想定し、どう対応すべきかを訓練しておく必要がある。今後、新型コロナウイルス感染状況はどうなっていくのかわからないが、その時の状況に応じて、高校生防災スクールを実施していくことが必要である。

①

①動画視聴の様子

②シェイクアウト訓練の様子

③④⑤避難訓練の様子



②



③



④



⑤

